

2007年3月期 中間決算説明会



燃料電池フォークリフト



ハイブリッドフォークリフト

2006年10月31日
株式会社 豊田自動織機
TOYOTA INDUSTRIES CORPORATION

・ 決算サマリー

7期連続で増収・増益

(億円)

	07/3 中間	06/3 中間	増減	増減率
売上高	9,130	6,990	+ 2,140	+ 31%
営業利益	400	320	+ 80	+ 25%
経常利益	534	415	+ 119	+ 29%
純利益	302	250	+ 52	+ 21%

8期連続で増収・増益の見込み

(億円)

	07/3 予想	06/3	増減	増減率
売上高	18,000	15,059	+ 2,941	+ 20%
営業利益	760	640	+ 120	+ 19%
経常利益	950	806	+ 144	+ 18%
純利益	530	470	+ 60	+ 13%

・さらなる成長の「基本要件」への対応

さらなる成長の「基本要件」への対応

1926年 創立

- ベンチャースピリット
- T P S

事業の多角化

2006年 創立80周年

さらなる成長の基本要件

- フェアで誠実な企業文化
- 環境経営
- 安全第一
- 品質・原価の徹底的な追求

➤ 人材育成と
職場力の強化

Undisputed No1 - United We Grow -

中期経営計画

フェアで誠実な企業文化

コンプライアンスの徹底

- ▶ 「社長指針」のトップ項目での強力なメッセージ
 - ・ 法令遵守の徹底
 - ・ 文化・慣習の尊重
- ▶ 「会社と従業員の行動の手引き」による、グループ全体での実践

「企業行動規範委員会」による体制・しくみの充実

- ▶ 「コンプライアンス分科会」「情報セキュリティ分科会」による推進
- ▶ 「法令主管部署」による監査・遵法点検（関係会社含む）

環境経営

「グローバル環境宣言」による連結環境マネジメントの強化

- ▶ 「第3次環境取り組みプラン」の全項目の達成（～05年度）
 - ・CO₂総排出量、90年度比で5%削減
 - ・環境負荷物質排出量、98年度比で50%削減
- ▶ 「第4次環境取り組みプラン」の取り組み開始（06年度～）
 - ・環境配慮型商品の市場への投入
 - ・開発から生産、販売、サービスに至るあらゆる段階での環境負荷の低減

安全第一

「安全な作業は、作業の入り口である」という基本の再徹底

- ▶ 「社長指針」をはじめ、あらゆるトップメッセージでの訴求
- ▶ トップによる現地・現物での「安全点検」

品質・原価の徹底的な追求

「品質指針」「原価指針」を社長から全社へ発信

基本に立ち返った取り組み

- ▶ T P S ・ T Q C 思想のもと、品質向上、原価改善、ムダの排除への愚直、地道、徹底的な取り組み
- ▶ 設計者の「ドラフター教育」



ドラフター教育

経営トップによる現地・現物での確認

- ▶ トップによる現地現物での「品質・原価点検」



社長現場点検

人材育成と職場力の強化

次代を担う人材の育成

- ▶ 基本に立ち返っての、固有技術・管理技術の向上
 - ・ 技能訓練センターでの基本動作の
確実な教え込み
 - ・ T P S 核人材づくり
- ▶ グローバル人材の育成

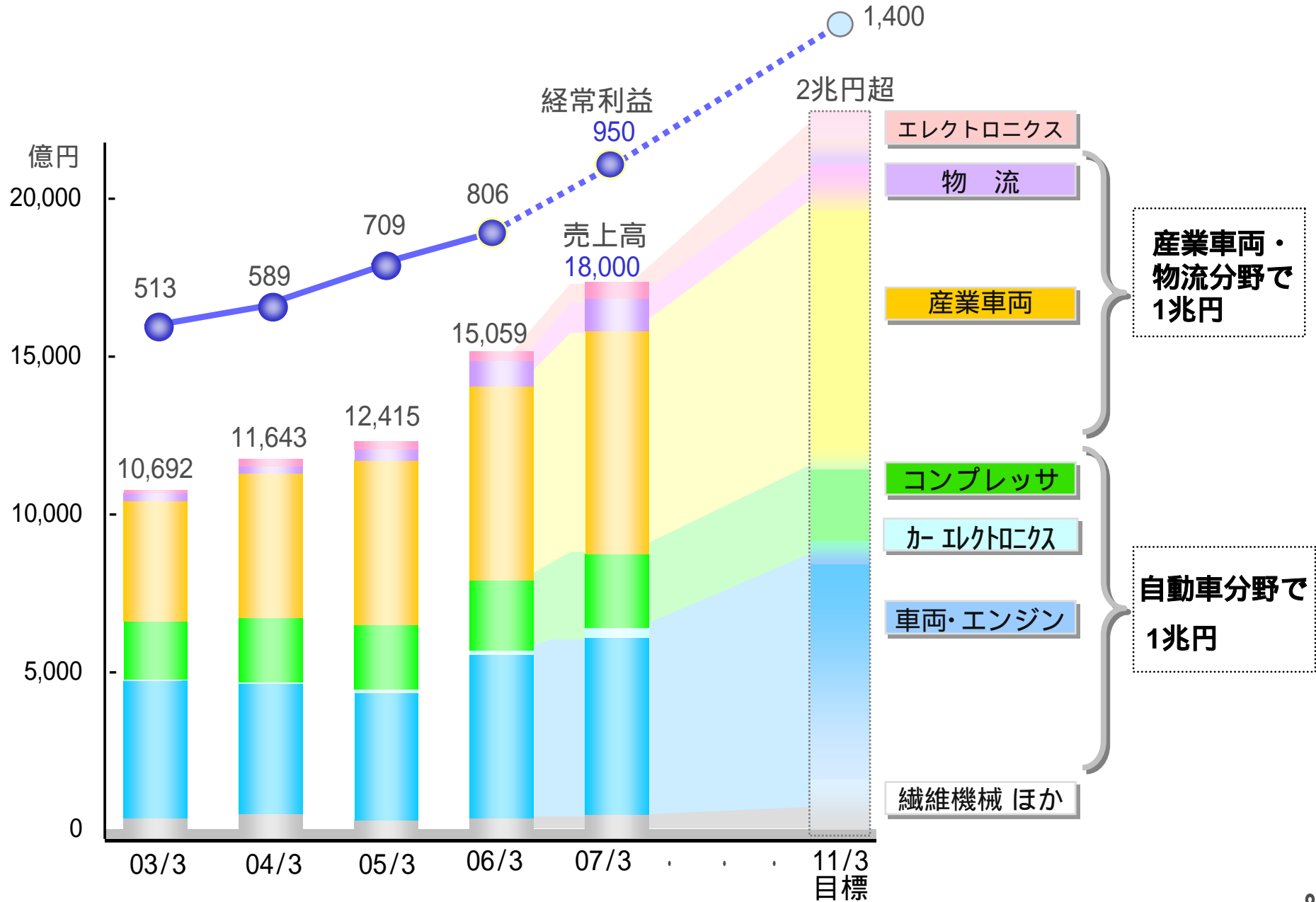


技能訓練センター

強いリーダーのもとでの職場力の強化

- ▶ 密なコミュニケーションによる「和の心」の醸成

中期的な成長イメージ



・ 決算詳細

7期連続で増収・増益

(億円)

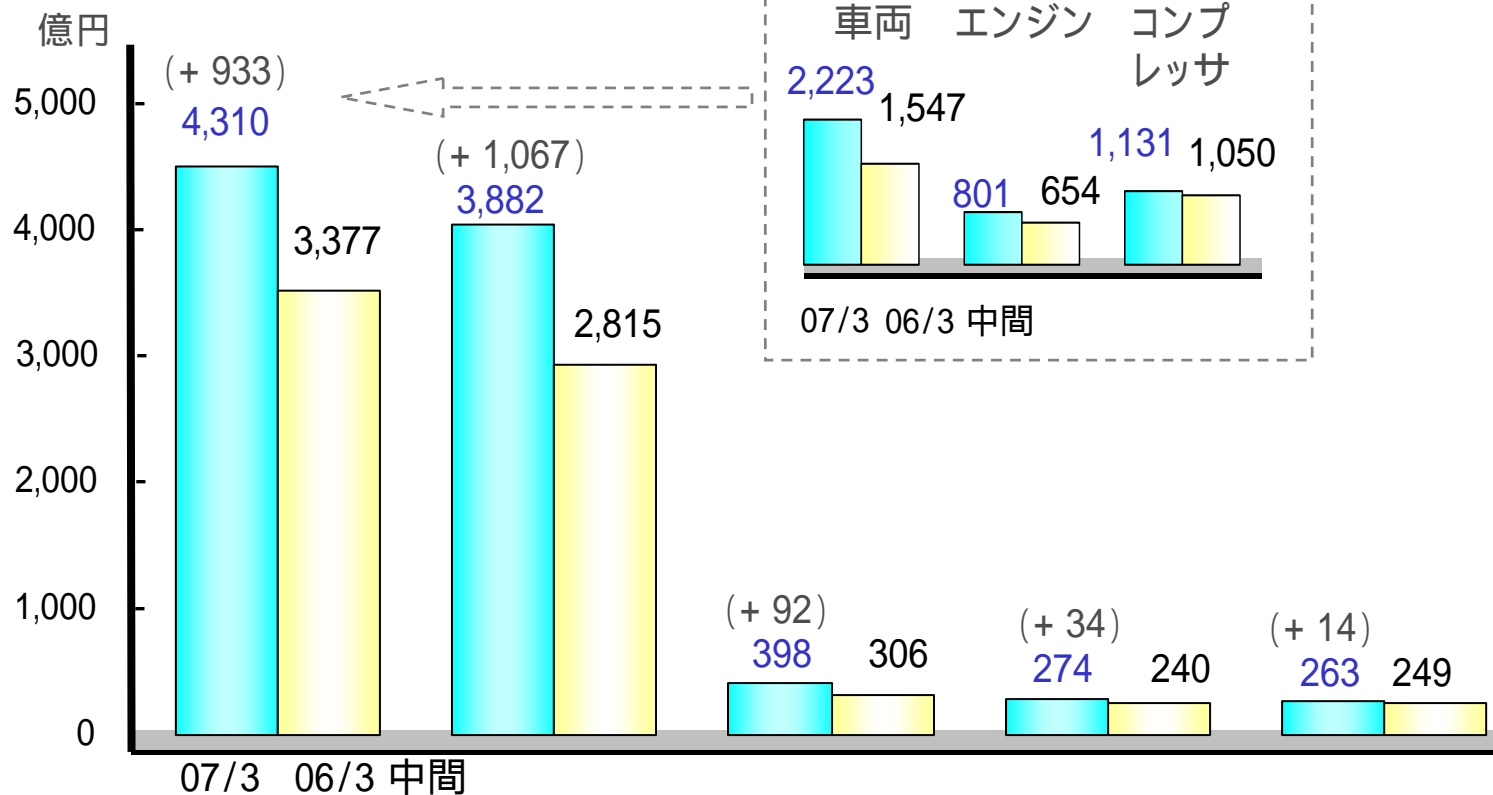
	07/3 中間	06/3 中間	増減	増減率
売上高	9,130	6,990	+ 2,140	+ 31%
営業利益	400	320	+ 80	+ 25%
経常利益	534	415	+ 119	+ 29%
純利益	302	250	+ 52	+ 21%

事業別セグメント売上高 2007/3月期 中間実績



すべてのセグメントで増収

07/3 中間 (+2,140) 06/3 中間
9,130 ← 6,990

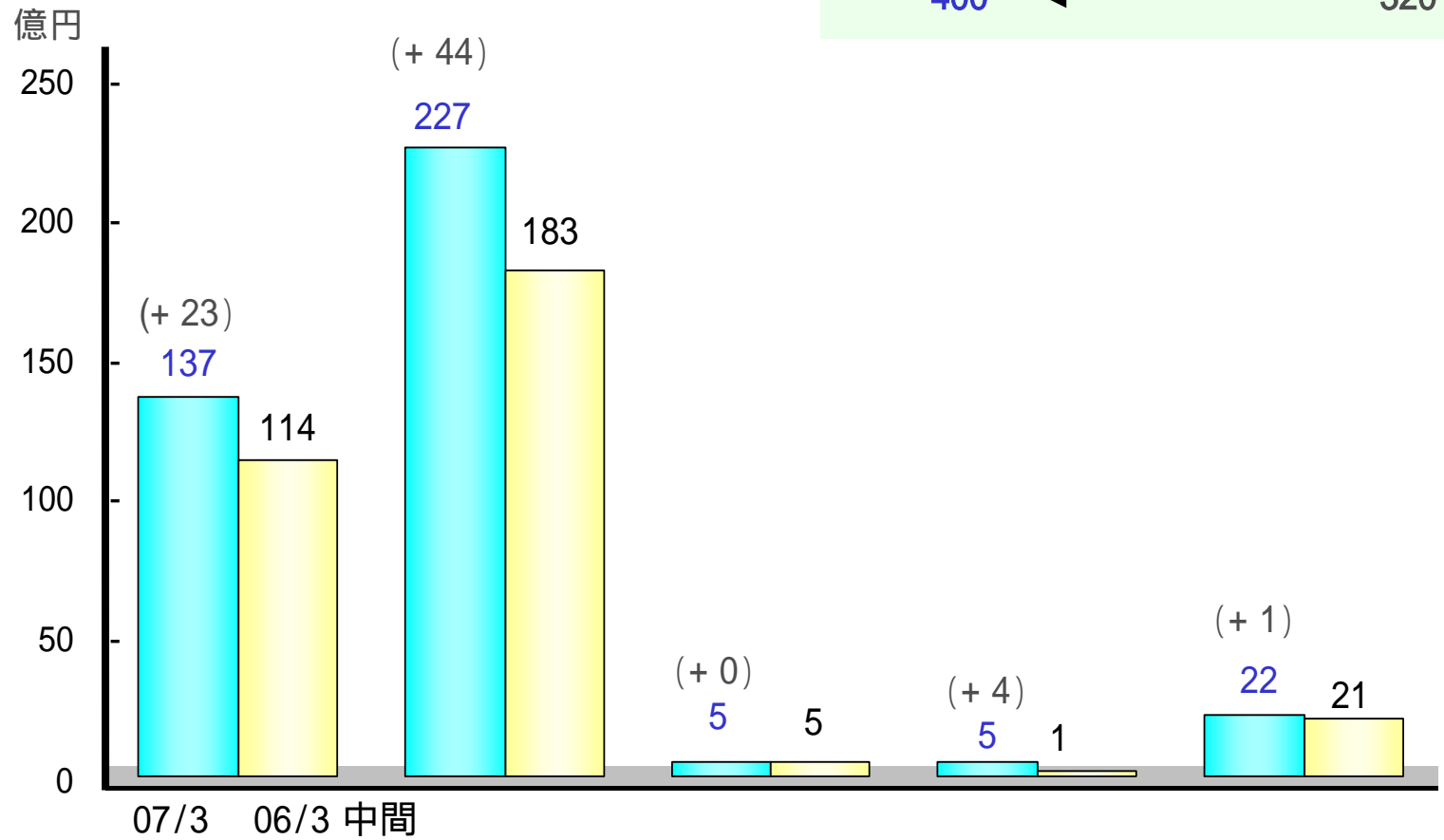


- 自動車
- 産業車両
- 物流
- 繊維機械
- その他

事業別セグメント営業利益 2007/3月期 中間実績

産業車両、自動車とともに増益

07/3 中間 400 (+ 80) 06/3 中間 320



- 自動車
- 産業車両
- 物流
- 繊維機械
- その他

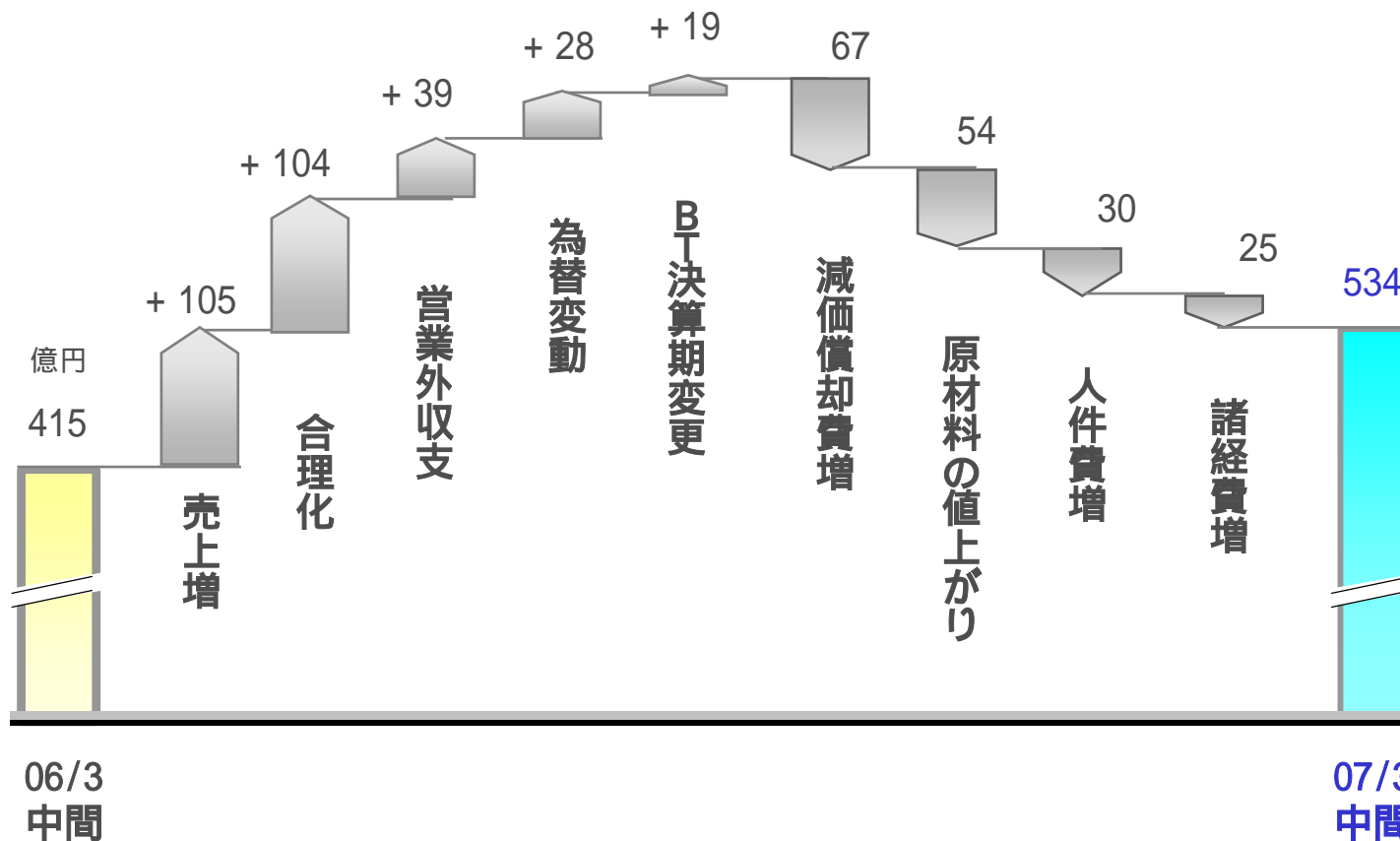
経常利益の増減要因 2007/3月期 中間実績



売上増、合理化により減価償却費増、原材料の値上がりなどをカバー

中間期の比較 (06/3中間と07/3中間)

(前年同期比 +119億円)



8期連続で増収・増益の見込み

(億円)

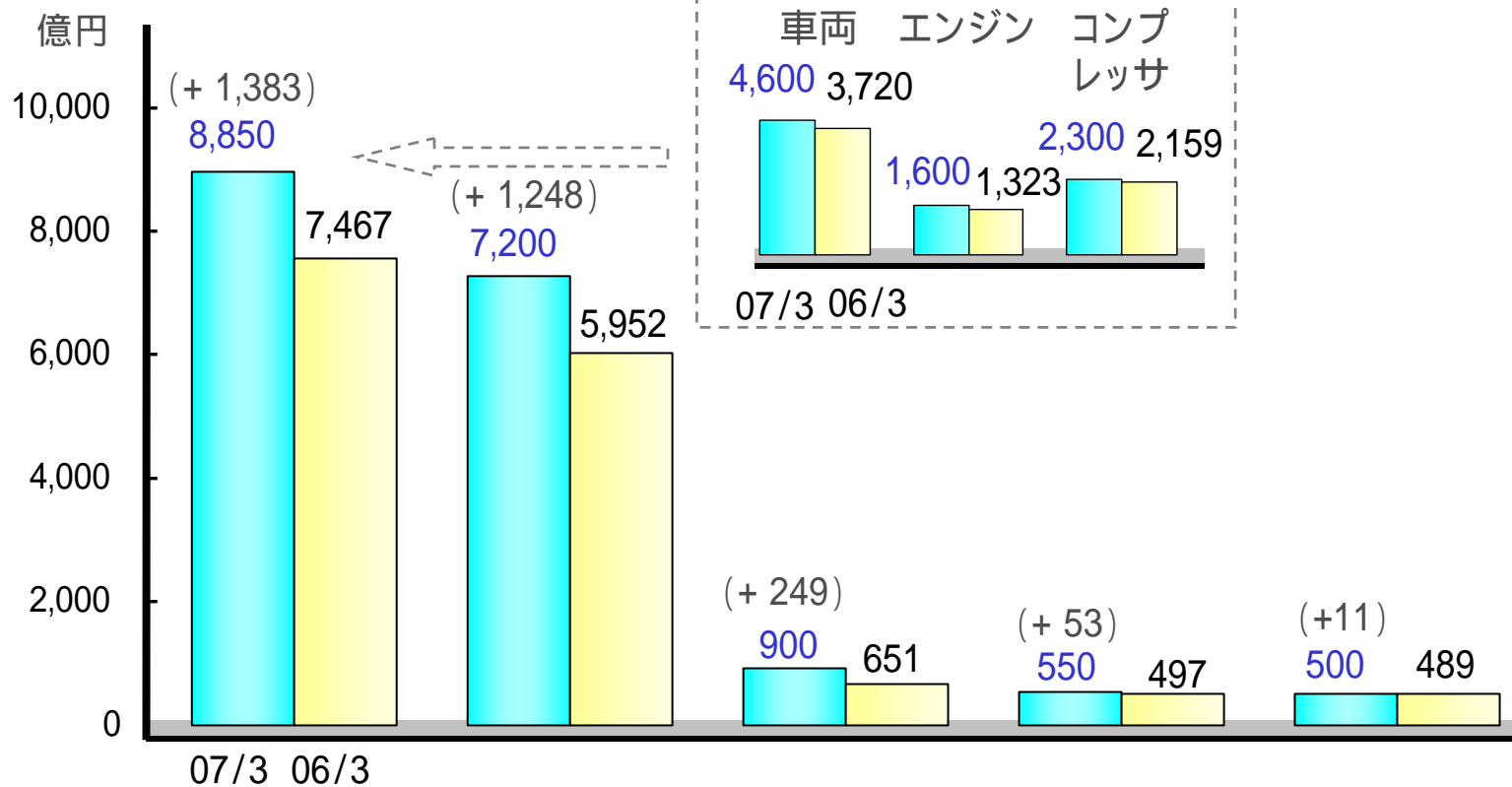
	07/3 予想	06/3	増減	増減率
売上高	18,000	15,059	+ 2,941	+ 20%
営業利益	760	640	+ 120	+ 19%
経常利益	950	806	+ 144	+ 18%
純利益	530	470	+ 60	+ 13%

事業別セグメント売上高 2007/3月期予想



すべてのセグメントで増収の見込み

07/3 (+ 2,941) 06/3
18,000 ← 15,059



自動車

産業車両

物流

繊維機械

その他

台数の見通し 2007/3月期予想



すべての部門で台数増加の見込み

	台数見通し				台数以外の 利益増減要因
	07/3 予想	06/3	増減	増減率	
産業車両	216千台	184	+ 32	+ 17 %	減価償却費増 原材料の値上がり 新製品効果 新製品立上げ費用 アイチ好調
コンプレッサ	2,030万台	1,911	+ 119	+ 6 %	海外値下げ要求
車 両	350千台	297	+ 53	+ 18 %	生産準備費用の減少
エンジン	494千台	362	+ 132	+ 36 %	

*1. 産業車両の台数は工場出荷ベース(その他は売上ベース)

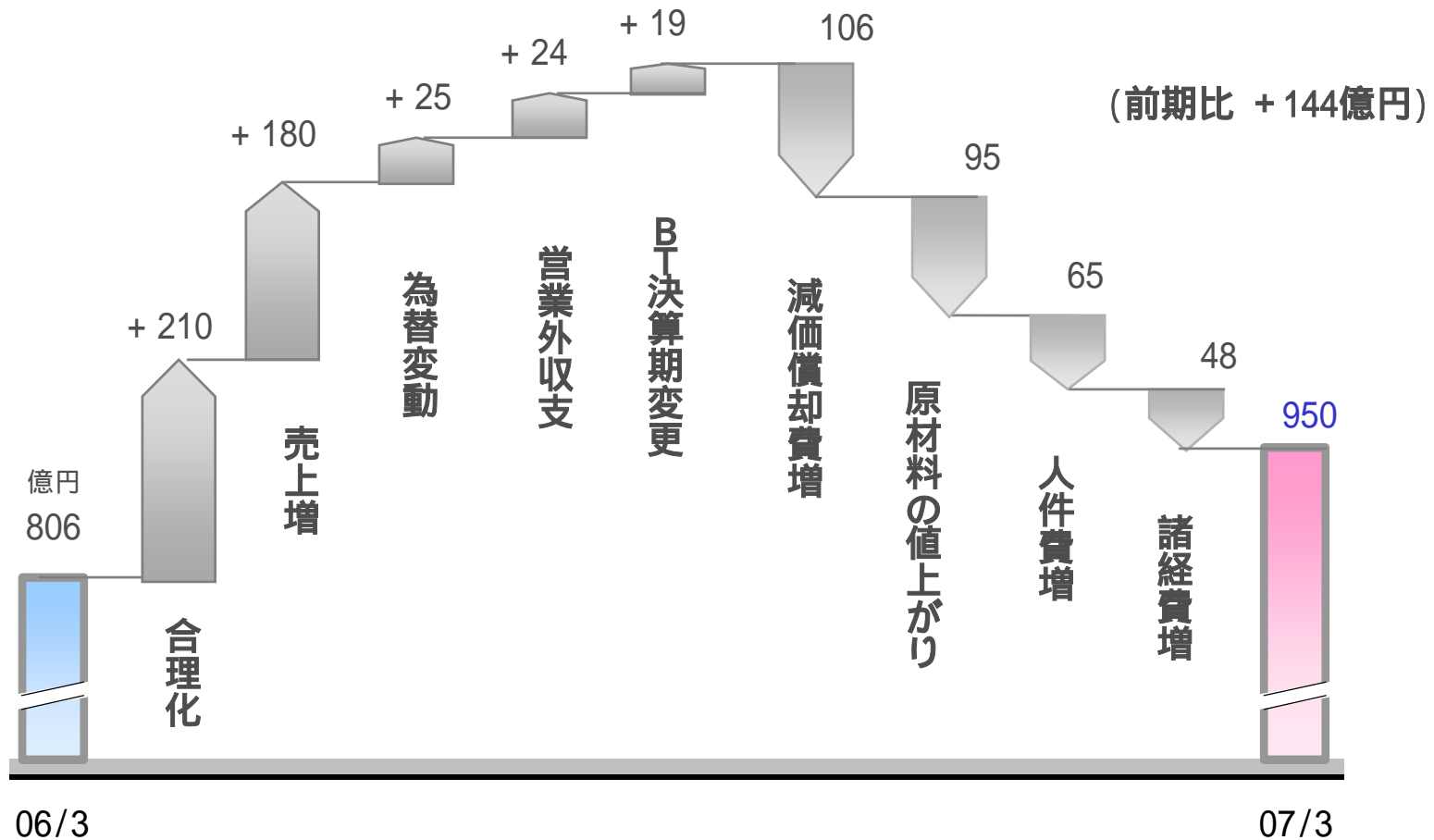
*2. エンジンの台数はフォークリフト用(内売)、CKDの台数を含まない

経常利益の増減要因 2007/3月期予想

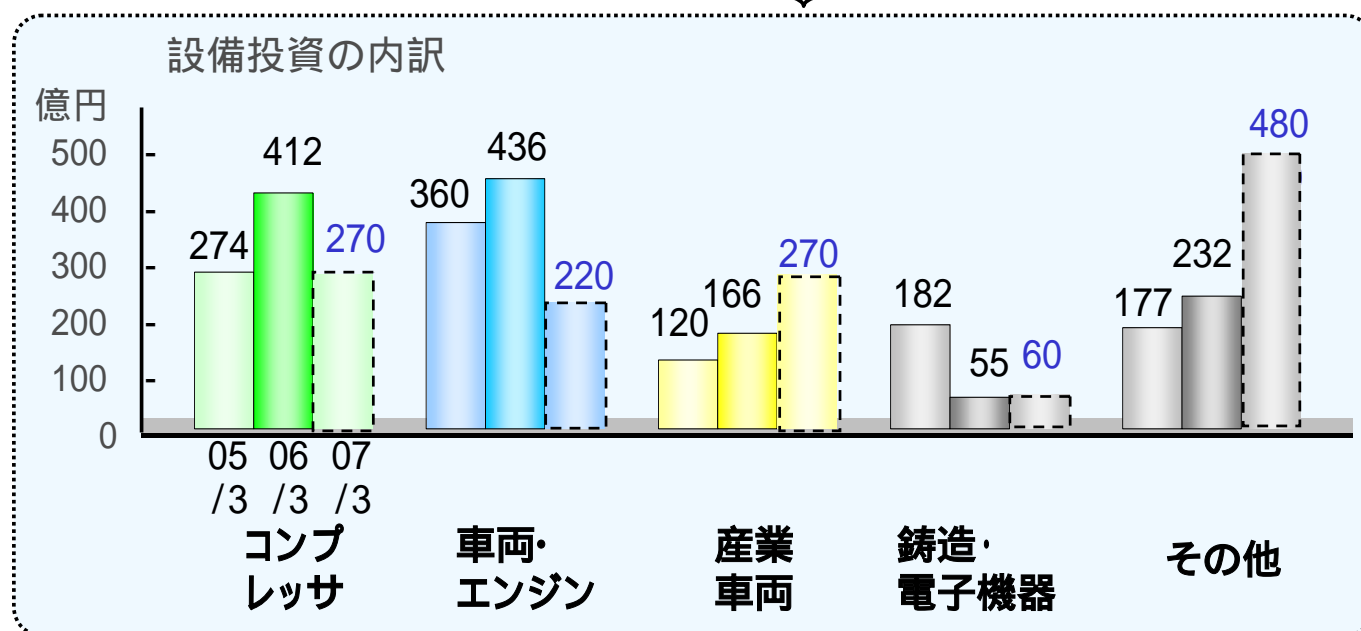
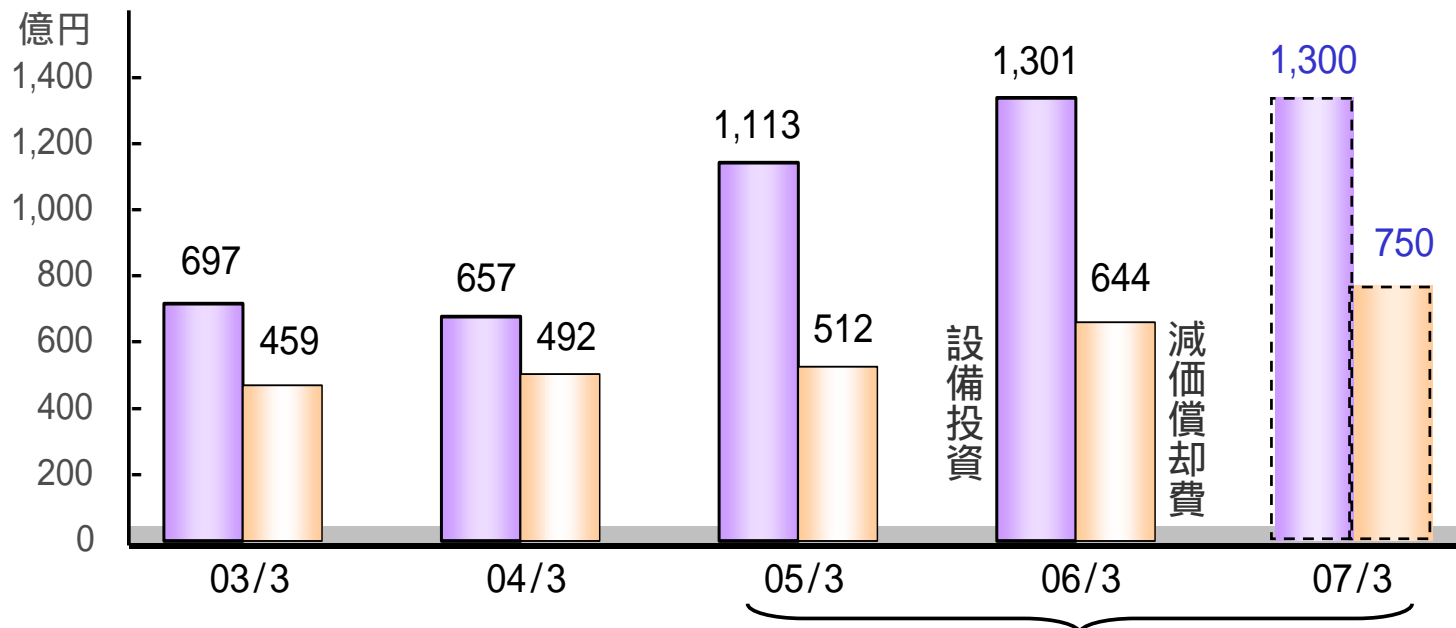


合理化、売上増により減価償却費増、原材料の値上がりなどをカバー

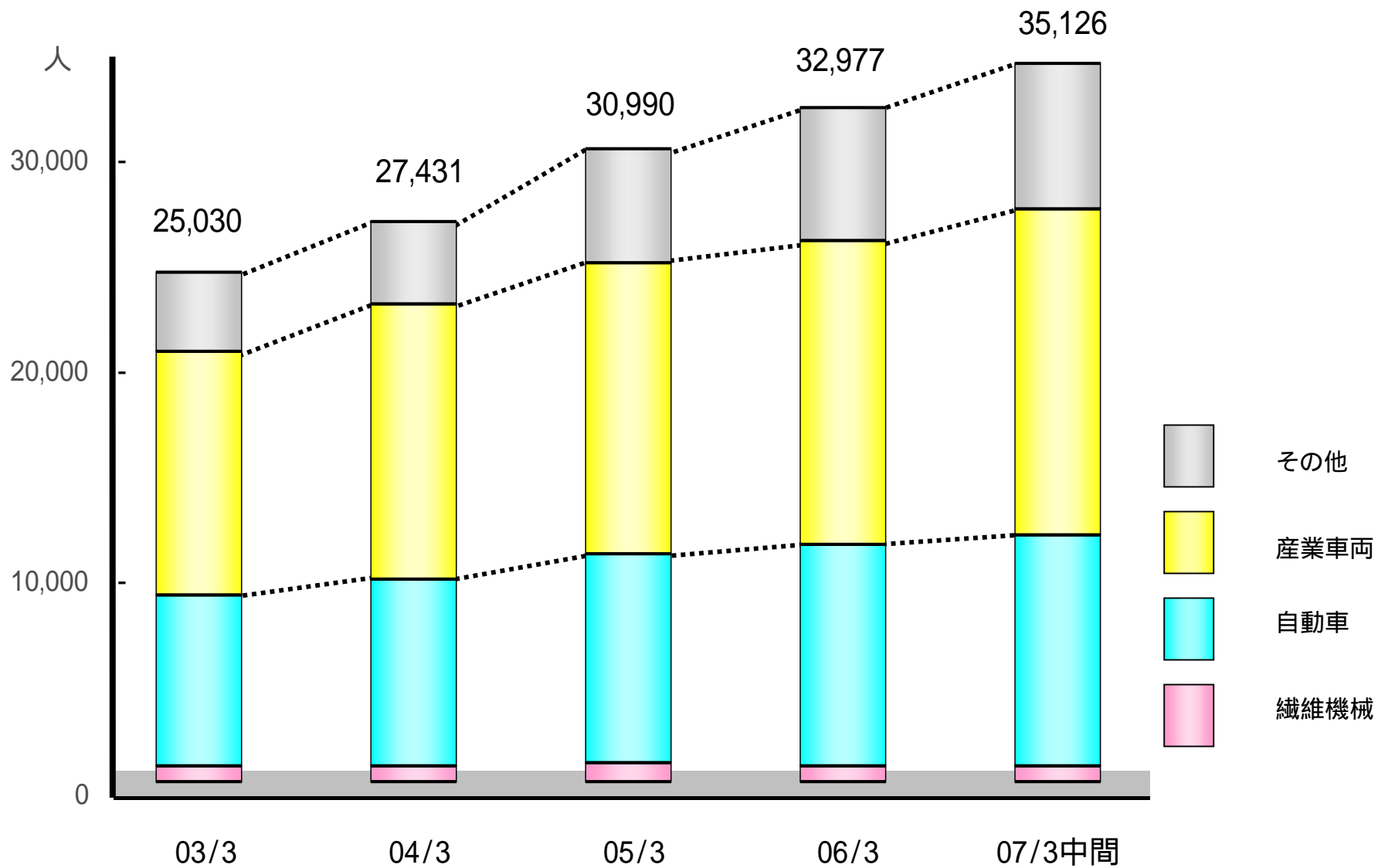
06/3月期実績と07/3月期予想との比較



設備投資・減価償却費



従業員数の推移



1株当たり純利益・配当金・配当性向

